

対象校No.
注4

学校コード F128310108801
注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
神戸常盤大学 看護学部 看護学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人玉田学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 法人本部運営管理課

職名・氏名 課員・岡本 貴秀

電話番号 078-611-1838

(夜間) 078-611-1838

e-mail uneikanri@kobe-tokiwa.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教育研究実施組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人玉田学園

(2) 大 学 名

神戸常盤大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒653-0838

兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ナカムラ タダシ) 中村 忠司 (令和5年4月)		
学 長	(ハマダ ミチオ) 濱田 道夫 (平成29年4月)		
学 部 長	(オザキ マサコ) 尾崎 雅子 (令和7年4月)		
学科長等	(オザキ マサコ) 尾崎 雅子 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	85人	2年次0人 3年次0人 4年次0人	340人	—	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・留学生については、入学定員を定めている場合は、「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	85人 () []	人 () []	春季入学以外の 入学時期と 入学定員内訳	1.11倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	260 () []	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	256 () []	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	154 () []	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	95 () []	() []				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 - ・ () 内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとすると、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・ [] 内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る届出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 開設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	95 () []	人 () []	
2年次	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	
3年次	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	
4年次	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	
計	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	95 () []	人 () []	

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ () 内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	人	人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
令和7年度	95 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{95} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					外部教員	
					必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	外部教員	
基礎教育分野	学部の群始め	まなぶる▶ときわびとⅠ	1前	○	2			1		5	2		19	
		まなぶる▶ときわびとⅡ	1後	○	1			1		1			21	
		大学道場miniゼミA	1前		1			1	1				10	
		大学道場miniゼミB	1後		1			1		1			11	
		小計(4科目)				3	2	0	2	2	6	2	0	33
	人間探究科目群	情報基礎	1前	○	1									3
		情報メディア演習	1後	○	1									3
		健康スポーツ科学Ⅰ	1前	○	1			1						4
		健康スポーツ科学Ⅱ	1前		1									2
		健康スポーツ科学Ⅲ	1後		1									2
		アカデミックライティング	1後	1										3
		コミュニケーション論	1前		1									1
		英語コミュニケーションⅠ	1前	○	1									1
		英語コミュニケーションⅡ	1後	○	1									1
		英語Aa (Communicative English Basic)	1前		1									1
		英語Ab (Communicative English Intermediate)	1後		1									1
		英語Ac (Communicative English Advanced)	3前		1									1
		英語B (Presentation Skills)	2前		1									1
		英語C (Current Issues)	2後		1									1
		手話コミュニケーション	1前		1				1					5
		多文化コミュニケーション	1後		1									1
		いのちと共生	1後		1				1					6
		人類と地球環境	1前		1									1
		暮らしの中の数学	1前		1				1					
		基礎統計学	1前	○	1				1					
		暮らしの中の物理学	1前		1									1
		現代社会と化学	1前		1									1
		人体のふしぎ	1前		1				1					5
		現代社会と生命科学	1前		1									1
		安全学	1前		1									6
		人類と農学	1前		1									1
		プログラミング入門	1後		1									1
		日本国憲法	1前		1									1
		哲学と倫理	1前		1									1
		生命と倫理	1後	○	1				1					
		芸術文化論	1前		1									1
		文学	1前		1									1
		日本通史	1前		1									1
		国際社会論	1後		1									2
		現代社会学	1後		1									1
		政治学	1後		1									1
		経済学	1前		1									1
		組織マネジメント論	1後		1									1
		心理臨床学	1後	○	1									1
人間関係論		1前		1									1	
教育と人間		1前		1									3	
災害とまちづくり		1前		1									2	
国際理解		1前		1					1	1			9	
科学技術論		1後		1									3	
		小計(44科目)	—		8	36	0	3	1	1	0	0	49	
専門基礎分野	人間・保健科学系	解剖生理学Ⅰ	1前	○	1			1						
		解剖生理学Ⅱ	1前	○	1			1					1	
		栄養学	2前	○	2								1	
		医療概論	1前	○	1			1						
		薬理学	2前	○	2								1	
		看護病理・病態学Ⅰ	1前	○	1			1						
		看護病理・病態学Ⅱ	1後	○	1			1						
		疾病治療論Ⅰ	2前	○	1			1						
		疾病治療論Ⅱ	2後	○	1			1						
		疾病治療論Ⅲ	3前	○	1			1						
		臨床看護特論	3前	○	1			1						
		医療機器総論	2後			1							1	
		公衆衛生学	1後	○	2								4	
		医療安全	2後	○	1								1	
	小計(14科目)		—		16	1	0	3	0	0	0	0	8	
	社会科学系	保健医療福祉総論	2後	○	2								1	
		I P W論	3前	○	1			1					4	
		国際保健医療活動	4前	○	1				1				4	
		保健統計学	2前	○	1			1						
		疫学	2後		2			1						
保健医療福祉行政論		4後		1			1					1		
小計(6科目)		—	5	3	0		3	1	0	0	0	9		
看護学専攻	看護学概論	1前	○	2				1						
	生活健康論	1前	○	1				1						
	看護倫理Ⅰ	1前	○	1				1						
	成人看護学概論	1後	○	2				1						
	老年看護学概論	2前	○	2				1						
	母性看護学概論	2後	○	2				1						
	小児看護学概論	2後	○	2					1					
	地域看護学概論	1後	○	2				1						

【令和7年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					（ 他 予 科 等 ） の 教 員 数	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 盤 教 育 分 野	学 科 目 の 群 の 始 め	まなぶる▶ときわびとⅠ	1前	○	2		1		5	2		17		
		まなぶる▶ときわびとⅡ	1後	○	1		1		2			18		
		大学道場miniゼミA	1前		1		1	1	1			11		
		大学道場miniゼミB	1後		1		1	2				10		
	小計(4科目)					3	2	0	3	2	6	2	0	33
	人 間 探 究 科 目 群	情報基礎	1前	○		1			1	1			6	
		情報メディア演習	1後	○	1				1	1			5	
		健康スポーツ科学Ⅰ	1前	○	1			1					5	
		健康スポーツ科学Ⅱ	1前		1							2		
		健康スポーツ科学Ⅲ	1後		1							2		
		アカデミックライティング	1後		1							3		
		コミュニケーション論	1前		1							1		
		英語コミュニケーションⅠ	1前	○	1							1		
		英語コミュニケーションⅡ	1後	○	1							1		
		英語Aa (Communicative English Basic)	1前		1							1		
		英語Ab (Communicative English Intermediate)	1後		1							1		
		英語Ac (Communicative English Advanced)	3前		1							1		
		英語B (Presentation Skills)	2前		1							1		
		英語C (Current Issues)	2後		1							1		
		手話コミュニケーション	1前		1							1		
		多文化コミュニケーション	1後		1							1		
		いのちと共生	1後		1			1				6		
		人類と地球環境	1前		1							1		
		暮らしの中の数学	1前		1			1						
		基礎統計学	1前	○		1		1					1	
		暮らしの中の物理学	1前			1							1	
		現代社会と化学	1前		1								1	
		人体のふしぎ	1前		1			1				6		
		現代社会と生命科学	1前		1							1		
		安全学	1前		1					1		5		
		人類と農学	1前		1							1		
		プログラミング入門	1前		1							1		
		日本国憲法	1前		1							1		
		哲学と倫理	1前		1							1		
		生命と倫理	1後	○	1			1						
		芸術文化論	1前		1							1		
		文学	1前		1							1		
		日本通史	1前		1									
		国際社会論	1後		1							2		
		現代社会学	1後		1					1				
		政治学	1後		1									
		経済学	1前		1								1	
		組織マネジメント論	1後		1							1		
		心理臨床学	1後	○	1							1		
人間関係論		1前		1							1			
教育と人間		1前		1					1		2			
災害とまちづくり		1前		1							2			
国際理解		1前		1				1	1		10			
科学技術論		1後		1							5			
小計(44科目)			—		6	36	1	3	1	2	0	0	54	
専 門 基 礎 分 野	人 間 ・ 保 健 科 学 系	解剖生理学Ⅰ	1前	○	1			1						
		解剖生理学Ⅱ	1前	○	1			1						
		栄養学	2前	○	2								1	
		医療概論	1前	○	1			1						
		薬理学	2前	○	2								1	
		看護病理・病態学Ⅰ	1前	○	1			1						
		看護病理・病態学Ⅱ	1後	○	1			1						
		疾病治療論Ⅰ	2前	○	1			1						
		疾病治療論Ⅱ	2後	○	1			1						
		疾病治療論Ⅲ	3前	○	1			1						
		臨床看護特論	3前	○	1			1						
		医療機器総論	2後			1							1	
		公衆衛生学	1後	○	2								1	
		医療安全	2後	○	1								4	
	小 計 (14科目)			—		16	1	0	3	0	0	0	0	8
	社 会 科 学 系	保健医療福祉総論	2後	○	2									1
		I P W論	3前	○	1			1						4
		国際保健医療活動	4前	○	1				1					4
		保健統計学	2前	○	1			1						
疫学		2後			2		1							
保健医療福祉行政論		4後			1		1						1	
小計(6科目)			—		5	3	0	3	1	0	0	0	9	
こ の 専 門 基 礎 分 野	看護学概論	1前	○	2			1							
	生活健康論	1前	○	1			1							
	看護倫理Ⅰ	1前	○	1			1							
	成人看護学概論	1後	○	2			1							
	老年看護学概論	2前	○	2			1							
	母性看護学概論	2後	○	2			1							
	小児看護学概論	2後	○	2				1						
	地域看護学概論	1後	○	2				1						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数」は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数」は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例: 記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

教育カリキュラムの見直しや教員退職による授業科目の見直し等により一部の科目を変更。
変更内容の詳細については、「2 授業科目の概要」(1) ①授業科目表のとおり。

- (注)・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
- ・ 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
68 科目	60 科目	15 科目	143 科目	66 科目 [△2]	61 科目 [1]	16 科目 [1]	143 科目 []	（記入例：指定規則の場合） 【旧カリキュラム】 設置時の計画：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計（A）○科目 変更状況：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計○科目

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1 科目減の場合：△ 1）
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1			該	当	な	し
2						
3						

(注)・配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1			該	当	な	し
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{143} = \boxed{0} \%$$

数式が入力されています。

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	神戸常盤大学附属とき わ幼稚園と共用		
校 地 等	校 舎 敷 地	m ²	26006.85m ²	918.21m ²	26925.06m ²			
	そ の 他	m ²	6131.64m ²	m ²	6131.64m ²			
	合 計	m ²	32138.49m ²	918.21m ²	33056.7m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		32138.49m ² (32138.49m ²)	()	m ² (m ²)	32138.49m ² (32138.49m ²)			
(3) 教室・教員研究室		教 室	室	教員研究室				
(4)	新設学部等 の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点	
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕			
	図書・設備	看護学部看護学科	57,072 [2,829] (42,768 [2,630])	12,704 [179] (9,104 [175])	4,703 [2,476] (4,601 [2,842])	4,499 [2,447] (4,368 [2,813])	1012 (949)	0 0
		計	57,072 [2,829] (42,768 [2,630])	12,704 [179] (9,104 [175])	4,703 [2,476] (4,601 [2,842])	4,499 [2,447] (4,368 [2,813])	1012 (949)	0 0
	(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		
		0m ²		0m ²		3,500m ²		
(6)	経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	400千円	400千円	図書購入費	2,500千円	2,500千円	2,500千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	12,000千円	8,000千円	4,000千円
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,850千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	- 千円	- 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、補助金等					

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）又は（その 1 の 3）に準じて作成してください。

（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び

「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）

・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の 5 月 1 日現在の数値を記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において 赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・ 高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・ 国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備 考		
保健科学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
看護学科	4	225	—	900	—	—	—	令和4	平成20	兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2	令和7年4月学生募集停止		
医療検査学科	4	80	—	320	学士（医療検査学）	1.08	—	—	平成20	同上			
診療放射線学科	4	75	—	300	学士（診療放射線学）	1.20	1.10	令和2	令和2	同上			
口腔保健学科	4	70	—	280	学士（口腔保健学）	0.97	—	令和4	令和4	同上			
教育学部	—	80	—	320	—			—	平成24	—			
こども教育学科	4	80	—	320	学士（教育学）	0.84	—	—	平成24	兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2			
看護学部	4	85	0	340	—			—	令和7	—			
看護学科	4	85	0	340	学士（看護学）	1.11	—	—	令和7	兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2			
大学全体	4	390	—	1560	—	1.04	—	—	—	—			

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の学科数		収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度				

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の学科数		収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度				

（注）本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定してください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定してください。
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- ・履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- ・開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を赤字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	尾崎 雅子 (63) <令和7年4月> 修士(人間科学)
		看護アラカルト 看護学概論 いのちと共生 看護技術Ⅲ(看護過程) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 課題別総合実習 看護学研究 看護の動向と展望 まなぶる*ときわびとⅢ(多職種 理解)
基 (主 専)	教授	鈴木 志津枝 (72) <令和7年4月> 博士(看護学)
		看護倫理Ⅰ 家族看護論 看護研究方法論 看護倫理Ⅱ 看護学研究
基 (主 専)	教授	岩越 美恵 (76) <令和8年4月> 博士(医学)
		特別支援教育 看護実習Ⅰ 疾病治療論Ⅲ 看護概説 教職実践演習(看護) 看護学研究 看護実習指導 看護実習Ⅱ
その他	教授	岩越 美恵 (76) <令和7年4月> 博士(医学)
		健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ 医療概論
基 (主 専)	教授	魚崎 須美 (65) <令和7年4月> 博士(看護学)
		地域看護学概論 公衆衛生看護学概論 健康教育の理論と方法 産業保健 公衆衛生看護管理論 保健医療福祉行政論 看護学研究 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ
基 (主 専)	教授	十九百 君子 (65) <令和7年4月> 修士(社会学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基本看護技術Ⅱ(生活援助) 看護教育
基 (主 専)	教授	島内 敦子 (61) <令和10年4月> 学士(看護学)
		課題別総合実習 看護学研究 看護アラカルト

【令和7年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	尾崎 雅子 (64) <令和7年4月> 修士(人間科学)
		看護アラカルト 看護学概論 いのちと共生 解剖生理学Ⅱ
基 (主 専)	教授	鈴木 志津枝 (73) <令和7年4月> 博士(看護学)
		看護倫理Ⅰ 大学進修miniゼミB 看護アラカルト
基 (主 専)	教授	岩越 美恵 (77) <令和8年4月> 博士(医学)
		特別支援教育 看護実習Ⅰ 疾病治療論Ⅲ 看護概説 教職実践演習(看護) 看護学研究 看護実習指導 看護実習Ⅱ
その他	教授	岩越 美恵 (77) <令和7年4月> 博士(医学)
		健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ 医療概論
基 (主 専)	教授	
基 (主 専)	教授	
基 (主 専)	教授	島内 敦子 (62) <令和10年4月> 学士(看護学)
		課題別総合実習 看護学研究 看護アラカルト

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	島内 敦子 (61) ＜令和7年4月＞ 学士(看護学)
		母性看護学概論 母性看護実践論 母性看護学実習 看護アラカルト
基 (主 専)	教授	柴田 しおり (60) ＜令和7年4月＞ 博士(保健学)
		基本看護技術入門（共通） 基本看護技術Ⅰ（フィジカルアセスメント） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学技術Ⅱ（生活援助） 基礎看護学実習Ⅳ（診療の補助） 基礎看護学実習Ⅱ（看護課程） 看護アラカルト
基 (主 専)	教授	岩切 由紀 (59) ＜令和10年4月＞ 博士(看護学)
		課題別総合実習 看護学研究
その他	教授	岩切 由紀 (59) ＜令和7年4月＞ 博士(看護学)
		成人看護学概論 急性看護実践論 クリティカルケア看護論 成人看護学実習Ⅰ（慢性期） 成人看護学実習Ⅱ（急性期）
基 (主 専)	教授	中田 康夫 (59) ＜令和7年4月＞ 修士(保健学)
		暮らしの中の数学 基礎統計学 まなぶる・ときわびとⅠ まなぶる・ときわびとⅡ いのちと共生 ※ 情報メディア演習 生命と倫理 看護病理・病態学Ⅰ 看護病理・病態学Ⅱ 臨床看護特論 保健統計学 疫学 看護学研究
基 (主 専)	教授	谷口 由佳 (56) ＜令和8年4月＞ 博士(看護学)
		老年看護学概論 老年看護実践論 老年看護学実習 キャリアリフレクション 課題別総合実習 看護学研究 看護アラカルト
その他	教授	谷口 由佳 (56) ＜令和7年4月＞ 博士(看護学)
		大学道場miniゼミA 生活健康論 地域ふれあい実習 健康ふれあい実習 看護アラカルト

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	島内 敦子 (62) ＜令和7年4月＞ 学士(看護学)
		看護アラカルト
基 (主 専)	教授	柴田 しおり (61) ＜令和7年4月＞ 博士(保健学)
		基本看護技術入門（共通） 基本看護技術Ⅰ（フィジカルアセスメント） 基礎看護学実習Ⅰ 看護アラカルト
基 (主 専)	教授	岩切 由紀 (60) ＜令和10年4月＞ 博士(看護学)
		課題別総合実習 看護学研究
その他	教授	岩切 由紀 (60) ＜令和7年4月＞ 博士(看護学)
		成人看護学概論
基 (主 専)	教授	中田 康夫 (60) ＜令和7年4月＞ 修士(保健学)
		暮らしの中の数学 基礎統計学 まなぶる・ときわびとⅠ まなぶる・ときわびとⅡ 生命と倫理 看護病理・病態学Ⅰ 看護病理・病態学Ⅱ
基 (主 専)	教授	谷口 由佳 (57) ＜令和8年4月＞ 博士(看護学)
		老年看護学概論 老年看護実践論 老年看護学実習 キャリアリフレクション 課題別総合実習 看護学研究 看護アラカルト
その他	教授	谷口 由佳 (57) ＜令和7年4月＞ 博士(看護学)
		生活健康論 健康ふれあい実習 地域ふれあい実習 看護アラカルト

専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	准教授	藤原 桜 (63) ＜令和7年4月＞ 修士(看護学)
		国際理解 大学道場miniゼミB 基本看護技術入門（共通） 基本看護技術Ⅰ（フィジカルアセスメント） 基礎看護学実習Ⅰ 基本看護技術Ⅱ（生活援助） 基礎看護学実習Ⅱ（看護過程） 基本看護技術Ⅳ（診療の補助） 課題別総合実習 国際保健医療活動 看護学研究
基 (主 専)	准教授	横山 利枝 (61) ＜令和8年4月＞ 修士(看護学)
		小児看護学概論 小児看護実践論 小児看護学実習 課題別総合実習 看護学研究
基 (主 専)	准教授	立垣 祐子 (54) ＜令和10年4月＞ 修士(保健学)
		災害看護 課題別総合実習 看護学研究
その他	准教授	立垣 祐子 (54) ＜令和7年4月＞ 修士(保健学)
		大学道場miniゼミA 精神看護学概論 精神看護実践論 精神看護学実習
基 (主 専)	講師	伊東 愛 (51) ＜令和8年4月＞ 修士(看護学)
		健康相談の理論と方法 看護学研究 公衆衛生看護展開論 公衆衛生看護展開論演習 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ
基 (主 専)	講師	西村 充弘 (70) ＜令和7年4月＞ 修士(看護学)
		精神看護実践論 精神看護学実習
基 (主 専)	講師	阿児 馨 (65) ＜令和7年4月＞ 修士(看護学)
		地域ふれあい実習 健康ふれあい実習 老年看護実践論 老年看護学実習 看護教育 課題別総合実習 看護学研究
基 (主 専)	講師	武士 由美 (63) ＜令和7年4月＞ 修士(看護学)
		基本看護技術入門（共通） 基本看護技術Ⅰ（フィジカルアセスメント） 基本看護技術Ⅱ（生活援助） 基本看護技術Ⅳ（診療の補助） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ（看護過程） 課題別総合演習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	准教授	藤原 桜 (64) ＜令和7年4月＞ 修士(看護学)
		基本看護技術入門（共通） 基本看護技術Ⅰ（フィジカルアセスメント） 基礎看護学実習Ⅰ 看護アラカルト
基 (主 専)	准教授	横山 利枝 (62) ＜令和8年4月＞ 修士(看護学)
		小児看護学概論 小児看護実践論 小児看護学実習 課題別総合実習 看護学研究
基 (主 専)	准教授	立垣 祐子 (55) ＜令和10年4月＞ 修士(保健学)
		災害看護 課題別総合実習 看護学研究
基 (主 専)	准教授	
基 (主 専)	准教授	伊東 愛 (52) ＜令和8年4月＞ 修士(看護学)
		健康相談の理論と方法 看護学研究 准教授 公衆衛生看護展開論 公衆衛生看護展開論演習 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ
基 (主 専)	講師	西村 充弘 (71) ＜令和7年4月＞ 修士(看護学)
基 (主 専)	講師	
基 (主 専)	講師	武士 由美 (64) ＜令和7年4月＞ 修士(看護学)
		基本看護技術入門（共通） 基本看護技術Ⅰ（フィジカルアセスメント） 基礎看護学実習Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	講師	伊東 美智子 (59) ＜令和10年4月＞ 修士（学校教育学） 課題別総合実習 看護学研究
そ 他	講師	伊東 美智子 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（人間科学）※ まなふる・ときわびとⅠ 母性看護実践論 母性看護学実習
基 （主 専）	講師	野田部 恵 (56) ＜令和8年4月＞ 修士（看護学） 慢性病看護論 がん看護論 成人看護学実習Ⅰ（慢性期） 成人看護学実習Ⅱ（急性期） 課題別総合実習 看護学研究
そ 他	講師	野田部 恵 (56) ＜令和7年4月＞ 修士（看護学） まなふる・ときわびとⅠ
基 （主 専）	講師	尾崎 優子 (55) ＜令和8年4月＞ 修士（学術） 地域との協働A 小児看護実践論 小児看護学実習 課題別総合実習 看護学研究
基 （主 専）	講師	紀ノ岡 浩美 (54) ＜令和10年4月＞ 修士（看護学） 課題別総合実習 看護学研究
そ 他	講師	紀ノ岡 浩美 (54) ＜令和7年4月＞ 修士（看護学） まなふる・ときわびとⅠ 国際理解 地域との協働A 急性看護実践論 リハビリテーション看護論 成人看護学実習Ⅰ（慢性期） 成人看護学実習Ⅱ（急性期）
基 （主 専）	講師	原 希代 (52) ＜令和10年4月＞ 修士（看護学） 課題別総合実習 看護学研究
そ 他	講師	原 希代 (52) ＜令和7年4月＞ 修士（看護学） まなふる・ときわびとⅠ 地域ふれあい実習 健康ふれあい実習 在宅看護学概論 IPW論 ※ 在宅看護実践論 在宅看護学実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	講師	伊東 美智子 (60) ＜令和10年4月＞ 修士（学校教育学） 課題別総合実習 看護学研究
基 （主 専）	講師	尾崎 優子 (56) ＜令和8年4月＞ 修士（学術） 地域との協働A 小児看護実践論 小児看護学実習 課題別総合実習 看護学研究
基 （主 専）	講師	原 希代 (53) ＜令和10年4月＞ 修士（看護学） 課題別総合実習 看護学研究
そ 他	講師	原 希代 (53) ＜令和7年4月＞ 修士（看護学） 地域ふれあい実習 健康ふれあい実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	中村 由果理 (51) ＜令和7年4月＞ 修士(看護学)
		まなふる＊ときわびとⅡ 基本看護技術入門（共通） 基本看護技術Ⅰ（フィジカルアセスメント） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ（看護過程） 基本看護技術Ⅱ（生活援助） 基本看護技術Ⅲ（看護過程） 基本看護技術Ⅳ（診療の補助） 看護教育 課題別総合実習 看護学研究
基 (主 専)	講師	江口 実希 (44) ＜令和10年4月＞ 博士(看護学)
		課題別総合実習 看護学研究
そ 他	講師	江口 実希 (44) ＜令和7年4月＞ 博士(看護学)
		まなふる＊ときわびとⅠ 精神看護実践論 精神看護学実習
基 (主 専)	講師	問本 弘美 (39) ＜令和8年4月＞ 修士(看護学)
		母性看護実践論 母性看護学実習 課題別総合実習
基 (主 専)	助教	坂井（増谷） 利衣 (44) ＜令和8年5月＞ 修士（保健看護学）
		基本看護技術Ⅱ（生活援助）
基 (主 専)	助教	松岡（木田） 真菜 (43) ＜令和7年4月＞ 学士(看護学)
		まなふる＊ときわびとⅠ 成人看護学実習Ⅰ（慢性期） 成人看護学実習Ⅱ（急性期） 課題別総合実習
基 (主 専)	助教	大槻 古野美 (36) ＜令和7年4月＞ 修士(看護学)
		まなふる＊ときわびとⅠ 地域ふれあい実習 健康ふれあい実習 在宅看護実践論 在宅看護学実習 課題別総合実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	准教授	中村 由果理 (52) ＜令和7年4月＞ 修士(看護学)
		基本看護技術入門（共通） 基本看護技術Ⅰ（フィジカルアセスメント） 基礎看護学実習Ⅰ
基 (主 専)	講師	江口 実希 (45) ＜令和10年4月＞ 博士(看護学)
		課題別総合実習 看護学研究
そ 他	講師	江口 実希 (45) ＜令和7年4月＞ 博士(看護学)
基 (主 専)	講師	問本 弘美 (40) ＜令和8年4月＞ 修士(看護学)
		母性看護実践論 母性看護学実習 課題別総合実習
基 (主 専)	講師	坂垣 紀子 ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）
		まなふる＊ときわびとⅡ 国際理解 基礎看護学実習Ⅰ 基本看護技術Ⅰ（フィジカルアセスメント） 基本看護技術入門（共通）
基 (主 専)	教授	宇多 みどり
		健康ふれあい実習 地域ふれあい実習
基 (主 専)	准教授	山岡 紀子
		地域看護学概論 情報メディア実習 情報基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	布引 治 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA
その他	その他	鈴木 高史 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA 国際理解 科学技術論 国際保健医療活動
その他	その他	大澤 佳代 ＜令和7年4月＞
		医療安全 I P W論 ※
その他	その他	伊藤 洋志 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅠ 人体のふしぎ ※ 医療安全
その他	その他	湊谷 雪子 ＜令和8年4月＞
		地域との協働B
その他	その他	砂見 愛子 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅠ 人体のふしぎ ※
その他	その他	澤村 暢 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅡ
その他	その他	溝越 祐志 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅡ いのちと共生 ※
その他	その他	佐野 太亮 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅠ 情報基礎 まなぶる♪ときわびとⅡ
その他	その他	梶山 和樹 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅠ まなぶる♪ときわびとⅡ
その他	その他	對間 博之 ＜令和10年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅢ（多職種理解）
その他	その他	今井 方丈 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA
その他	その他	谷口 英明 ＜令和7年4月＞
		コミュニケーション論 芸術文化論 ※

教員区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	布引 治 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミB
その他	その他	鈴木 高史 ＜令和7年4月＞
		国際理解 科学技術論 大学道場miniゼミB
その他	その他	大澤 佳代 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミB
その他	その他	伊藤 洋志 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA
その他	その他	湊谷 雪子 ＜令和8年4月＞
		地域との協働B
その他	その他	砂見 愛子 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅠ 人体のふしぎ ※
その他	その他	
その他	その他	溝越 祐志 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅡ いのちと共生 ※
その他	その他	佐野 太亮 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅠ 情報基礎 まなぶる♪ときわびとⅡ
その他	その他	梶山 和樹 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅠ まなぶる♪ときわびとⅡ
その他	その他	對間 博之 ＜令和10年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅢ（多職種理解）
その他	その他	
その他	その他	谷口 英明 ＜令和7年4月＞
		コミュニケーション論 芸術文化論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	山崎 麻由美 ＜令和7年4月＞
		英語コミュニケーションⅠ 大学道場miniゼミB 医療英語
その他	その他	高久 圭二 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 暮らしの中の物理学 科学技術論
その他	その他	関 雅幸 ＜令和7年4月＞
		プログラミング入門
その他	その他	伊藤 彰 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅠ まなぶる♪ときわびとⅡ 地域との協働B
その他	その他	長谷川 大輔 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅠ 国際理解 まなぶる♪ときわびとⅡ
その他	その他	市川 尚 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅠ まなぶる♪ときわびとⅡ
その他	その他	吉田 幸恵 ＜令和7年4月＞
		健康スポーツ科学Ⅰ ※ まなぶる♪ときわびとⅢ（多職種 理解）
その他	その他	八木 孝和 ＜令和7年4月＞
		健康スポーツ科学Ⅰ ※
その他	その他	江崎 ひろみ ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB
その他	その他	福田 昌代 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB
その他	その他	山城 圭介 ＜令和7年4月＞
		人体のふしぎ ※
その他	その他	上原 弘美 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB いのちと共生 ※
その他	その他	中村 美紀 ＜令和8年4月＞
		地域との協働B

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	山崎 麻由美 ＜令和7年4月＞
		英語コミュニケーションⅠ 大学道場miniゼミB
その他	その他	関 雅幸 ＜令和7年4月＞
		プログラミング入門 大学道場miniゼミA
その他	その他	伊藤 彰 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅡ いのちと共生 医学技術論
その他	その他	長谷川 大輔 ＜令和7年4月＞
		国際理解
その他	その他	市川 尚 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅠ
その他	その他	八木 孝和 ＜令和7年4月＞
		健康スポーツ科学Ⅰ ※
その他	その他	福田 昌代 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB
その他	その他	山城 圭介 ＜令和7年4月＞
		人体のふしぎ ※
その他	その他	上原 弘美 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB いのちと共生 ※ まなぶる♪ときわびとⅠ まなぶる♪ときわびとⅡ
その他	その他	中村 美紀 ＜令和8年4月＞
		地域との協働B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	宮澤 純子 ＜令和7年4月＞
		国際理解
その他	その他	室崎 友輔 ＜令和7年4月＞
		まなぶる＊ときわびとⅠ 情報基礎 災害とまちづくり ※ まなぶる＊ときわびとⅡ コミュニティデザイン プロジェクトデザイン
その他	その他	水村 容子 ＜令和7年4月＞
		まなぶる＊ときわびとⅠ 国際理解 まなぶる＊ときわびとⅡ
その他	その他	浅枝 麻夢可 ＜令和7年4月＞
		まなぶる＊ときわびとⅠ まなぶる＊ときわびとⅡ
その他	その他	伴仲 謙欣 ＜令和7年4月＞
		まなぶる＊ときわびとⅠ 安全学 ※ 教育と人間 国際理解 教育社会学 まなぶる＊ときわびとⅡ 地域との協働A 現代社会学
その他	その他	大森 雅人 ＜令和7年4月＞
		情報メディア演習 教育方法・技術論 超ときわびと
その他	その他	光成 研一郎 ＜令和7年4月＞
		まなぶる＊ときわびとⅠ 教育と人間 まなぶる＊ときわびとⅡ まなぶる＊ときわびとⅢ（多職種 理解）
その他	その他	中田 尚美 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA
その他	その他	中西 利恵 ＜令和7年4月＞
		学校保健
その他	その他	牛頭 哲宏 ＜令和7年4月＞
		アカデミックライティング 総合的な学習の時間の指導法 ※
その他	その他	橋本 好市 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA
その他	その他	山田 秀江 ＜令和7年4月＞
		まなぶる＊ときわびとⅠ まなぶる＊ときわびとⅡ 大学道場miniゼミB

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	宮澤 純子 ＜令和7年4月＞
		国際理解
その他	その他	水村 容子 ＜令和7年4月＞
		まなぶる＊ときわびとⅠ 国際理解 まなぶる＊ときわびとⅡ
その他	その他	伴仲 謙欣 ＜令和7年4月＞
		まなぶる＊ときわびとⅠ 安全学 ※ 教育と人間 教育社会学 まなぶる＊ときわびとⅡ 地域との協働A 現代社会学 情報メディア演習 情報基礎
その他	その他	光成 研一郎 ＜令和7年4月＞
		まなぶる＊ときわびとⅠ 教育と人間 まなぶる＊ときわびとⅡ
その他	その他	牛頭 哲宏 ＜令和7年4月＞
		アカデミックライティング
その他	その他	橋本 好市 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA
その他	その他	山田 秀江 ＜令和7年4月＞
		まなぶる＊ときわびとⅠ まなぶる＊ときわびとⅡ 大学道場miniゼミB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	山下 敦子 ＜令和7年4月＞
		アカデミックライティング 総合的な学習の時間の指導法 ※
その他	その他	笹井 隆邦 ＜令和7年4月＞
		人類と地球環境
その他	その他	脇本 聡美 ＜令和7年4月＞
		国際理解
その他	その他	近藤 みづき ＜令和7年4月＞
		まなぶる♫ときわびとⅠ 健康スポーツ科学Ⅰ ※ 健康スポーツ科学Ⅱ まなぶる♫ときわびとⅡ 健康スポーツ科学Ⅲ
その他	その他	田中 達也 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♫ときわびとⅠ まなぶる♫ときわびとⅡ 大学道場miniゼミB
その他	その他	大城 亜水 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♫ときわびとⅠ 情報基礎 まなぶる♫ときわびとⅡ 地域との協働A
その他	その他	京極 重智 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♫ときわびとⅠ まなぶる♫ときわびとⅡ 道徳教育と特別活動論 地域との協働B
その他	その他	杉浦 弘隆 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♫ときわびとⅠ 現代社会と化学 まなぶる♫ときわびとⅡ 大学道場miniゼミB
その他	その他	深川 幹 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♫ときわびとⅠ まなぶる♫ときわびとⅡ 大学道場miniゼミB
その他	その他	中野 順子 ＜令和7年4月＞
		国際理解
その他	その他	永島 聡 ＜令和7年4月＞
		人間関係論 心理臨床学 教育心理学 教育相談
その他	その他	浅野 京子 ＜令和7年4月＞
		手話コミュニケーション

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	山下 敦子 ＜令和7年4月＞
		アカデミックライティング
その他	その他	脇本 聡美 ＜令和7年4月＞
		国際理解
その他	その他	近藤 みづき ＜令和7年4月＞
		まなぶる♫ときわびとⅠ 健康スポーツ科学Ⅰ ※ 健康スポーツ科学Ⅱ まなぶる♫ときわびとⅡ 健康スポーツ科学Ⅲ 国際理解
その他	その他	田中 達也 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♫ときわびとⅠ まなぶる♫ときわびとⅡ 情報メディア演習 情報基礎
その他	その他	大城 亜水 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♫ときわびとⅠ 情報基礎 まなぶる♫ときわびとⅡ 地域との協働A 情報メディア演習
その他	その他	京極 重智 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♫ときわびとⅠ まなぶる♫ときわびとⅡ
その他	その他	深川 幹 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♫ときわびとⅠ まなぶる♫ときわびとⅡ いのちと共生 人類と地球環境 情報メディア演習 情報基礎
その他	その他	永島 聡 ＜令和7年4月＞
		人間関係論 心理臨床学
その他	その他	浅野 京子 ＜令和7年4月＞
		手話コミュニケーション

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	千石 真理 ＜令和7年4月＞
		いのちと共生 ※ 英語コミュニケーションⅡ
その他	その他	森永 達男 ＜令和7年4月＞
		災害とまちづくり ※ プロジェクトデザイン
その他	その他	松本 大祐 ＜令和7年4月＞
		健康スポーツ科学Ⅰ ※ 健康スポーツ科学Ⅱ 健康スポーツ科学Ⅲ
その他	その他	神田 大輔 ＜令和7年4月＞
		アカデミックライティング
その他	その他	藪 葉子 ＜令和7年4月＞
		文学
その他	その他	大菅 誠司 ＜令和7年4月＞
		人類と農学
その他	その他	片山 正彦 ＜令和7年4月＞
		日本通史
その他	その他	山口 有美 ＜令和8年4月＞
		感染症看護論
その他	その他	小西 千鶴 ＜令和7年4月＞
		英語 A a (Communicative English Basic) 英語 A b (Communicative English Intermediate) 英語 B (Presentation Skills) 英語 C (Current Issues)
その他	その他	本田 英理 ＜令和7年4月＞
		安全学 ※
その他	その他	菊地 隆之 ＜令和7年4月＞
		安全学 ※
その他	その他	金 千秋 ＜令和7年4月＞
		安全学 ※ 国際理解
その他	その他	山下(林) 紗矢佳 ＜令和7年4月＞
		組織マネジメント論

教員区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	千石 真理 ＜令和7年4月＞
		英語コミュニケーションⅡ
その他	その他	森永 達男 ＜令和7年4月＞
		災害とまちづくり ※
その他	その他	神田 大輔 ＜令和7年4月＞
		アカデミックライティング
その他	その他	藪 葉子 ＜令和7年4月＞
		文学
その他	その他	大菅 誠司 ＜令和7年4月＞
		人類と農学
その他	その他	片山 正彦 ＜令和7年4月＞
		日本通史
その他	その他	山口 有美 ＜令和8年4月＞
		感染症看護論
その他	その他	小西 千鶴 ＜令和7年4月＞
		英語 A a (Communicative English Basic) 英語 A b (Communicative English Intermediate)
その他	その他	本田 英理 ＜令和7年4月＞
		安全学 ※
その他	その他	菊地 隆之 ＜令和7年4月＞
		安全学 ※
その他	その他	金 千秋 ＜令和7年4月＞
		安全学 ※ 国際理解
その他	その他	山下(林) 紗矢佳 ＜令和7年4月＞
		組織マネジメント論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	Carol K. Dallos ＜令和7年4月＞
		英語 A a (Communicative English Basic) 英語 A b (Communicative English Intermediate) 英語 A c (Communication English Advanced)
その他	その他	中野 康次郎 ＜令和7年4月＞
		哲学と倫理
その他	その他	柳本 太三 ＜令和7年4月＞
		健康スポーツ科学Ⅲ
その他	その他	関本 雅子 ＜令和7年4月＞
		教育と人間
その他	その他	内橋 一恵 ＜令和7年4月＞
		国際理解 まなふるときわびとⅡ 多文化コミュニケーション 国際社会論
その他	その他	西 修 ＜令和7年4月＞
		コミュニティデザイン
その他	その他	藤岡 健 ＜令和7年4月＞
		コミュニティデザイン
その他	その他	柴山 慶太 ＜令和7年4月＞
		安全学 ※ 日本国憲法
その他	その他	Shiba Kuar Rai ＜令和10年4月＞
		国際保健医療活動
その他	その他	荒木 実代 ＜令和10年4月＞
		保健医療福祉行政論
その他	その他	井本 しおん ＜令和8年4月＞
		医療安全
その他	その他	岡光 幸代 ＜令和8年4月＞
		医療安全 看護マネジメント
その他	その他	酒井 健雄 ＜令和8年4月＞
		医療機器総論

教員区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	Carol K. Dallos ＜令和7年4月＞
		英語 A a (Communicative English Basic) 英語 A b (Communicative English Intermediate)
その他	その他	中野 康次郎 ＜令和7年4月＞
		哲学と倫理
その他	その他	柳本 太三 ＜令和7年4月＞
		健康スポーツ科学Ⅲ
その他	その他	関本 雅子 ＜令和7年4月＞
		教育と人間
その他	その他	内橋 一恵 ＜令和7年4月＞
		多文化コミュニケーション 国際社会論
その他	その他	西 修 ＜令和7年4月＞
		コミュニティデザイン
その他	その他	藤岡 健 ＜令和7年4月＞
		コミュニティデザイン
その他	その他	柴山 慶太 ＜令和7年4月＞
		安全学 ※ 日本国憲法
その他	その他	Shiba Kuar Rai ＜令和10年4月＞
		国際保健医療活動
その他	その他	荒木 実代 ＜令和10年4月＞
		保健医療福祉行政論
その他	その他	井本 しおん ＜令和8年4月＞
		医療安全
その他	その他	岡光 幸代 ＜令和8年4月＞
		医療安全 看護マネジメント
その他	その他	酒井 健雄 ＜令和8年4月＞
		医療機器総論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	辻 泰弘 ＜令和8年4月＞
		保健医療福祉総論
その他	その他	上山 繁 ＜令和7年4月＞
		安全学 ※
その他	その他	三浦 智恵 ＜令和8年4月＞
		看護マネジメント
その他	その他	唐木 美喜子 ＜令和10年4月＞
		養護実習指導
その他	その他	竹下 三隆 ＜令和8年4月＞
		生徒指導論 教職実践演習（養護） 養護実習指導
その他	その他	西本 望 ＜令和8年4月＞
		教育課程総論

教員区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	その他	辻 泰弘 ＜令和8年4月＞
		保健医療福祉総論
その他	その他	上山 繁 ＜令和7年4月＞
		安全学 ※
その他	その他	三浦 智恵 ＜令和8年4月＞
		看護マネジメント
その他	その他	唐木 美喜子 ＜令和10年4月＞
		養護実習指導
その他	その他	竹下 三隆 ＜令和8年4月＞
		生徒指導論 教職実践演習（養護） 養護実習指導
その他	その他	西本 望 ＜令和8年4月＞
		教育課程総論
兼任	准教授	浦 みどり (50) ＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		まなぶる♪ときわびとⅡ 国際理解 大学道場miniゼミB
兼任	講師	鳥田 隆史 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		まなぶる♪ときわびとⅡ 情報メディア演習 情報基礎
兼任	講師	山崎 明日美 ＜令和7年4月＞
		まなぶる♪ときわびとⅡ
兼任	助教	廣部 真也 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		まなぶる♪ときわびとⅡ 国際理解
兼任	助教	鶴田 楓 ＜令和7年4月＞ 博士（歯学）
		まなぶる♪ときわびとⅠ まなぶる♪ときわびとⅡ
兼任	准教授	木村 英理 ＜令和7年4月＞
		大学道場miniゼミA まなぶる♪ときわびとⅠ
兼任	教授	森谷 徳文 (56) ＜令和7年4月＞ 博士（歯学）
		大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

教員の異動（昇任、辞任）及び教育カリキュラムの見直し等による担当教員の変更。
詳細については、「5. 教員組織の状況」（1）①担当教員表のとおり。

(注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。）

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)～④ 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)～② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)～① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数(α)	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	うち、完成年度時における設 置基準上の専ら当該学部等の 教員研究に從事する必要基幹 教員数(α)の4分の3以 上)
12	6	9
名	名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)～② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	うち専ら当該学部等の 教員研究に從事する者 (「基(主専)」及び (基(専)」の計 (A'))	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	うち専ら当該学部等の 教員研究に從事する者 (「基(主専)」及び (基(専)」の計 (B'))	助手 (B')
9	7	14	1	31	31	0	4	1	5	1	11	11	0
(4)	(1)	(5)	(1)	(11)	(11)	0							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	うち専ら当該学部等の 教員研究に從事する者 (「基(主専)」及び (基(専)」の計 (C'))	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	うち専ら当該学部等の 教員研究に從事する者 (「基(主専)」及び (基(専)」の計 (D'))	助手 (D')
9	7	14	1	31	31	0	9	7	14	1	31	31	0
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に從事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に從事する者(「基一」及び「基専」の計)」として記入してください。
・なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に從事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)(A')」欄には「-」を記入してください。
・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)～③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	5
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)～④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = $\frac{31}{31} = 100$ %
設置時の計画(A)

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に從事する者】

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = $\frac{31}{31} = 100$ %
設置時の計画(A')

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)～⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = $\frac{3}{11} = 27.27$ %
現在(報告時)の状況(B)

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)～⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = $\frac{0}{0} = -$ %
設置時の計画(A')

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹(専任)教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由												
1	教授	魚 崎 須美	R7.3	必修	地域看護学概論	①	願いにより辞任（７）												
				選択	公衆衛生看護学概論	①													
				選択	健康教育の理論と方法	①													
				選択	産業保健	①													
				選択	公衆衛生看護管理論	①													
				選択	保健医療福祉行政論	①													
				必修	看護学研究	①													
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ	①													
2	教授	十九百 君子	R6.3	選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ	①	願いにより辞任（７）												
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①													
				選択	基本看護技術Ⅱ（生活援助）	①													
3	講師	野田部 恵	R7.3	選択	看護教育	①	願いにより辞任（７）												
				必修	慢性病看護論	①													
				必修	がん看護論	①													
				必修	成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	①													
				必修	成人看護学実習Ⅱ（急性期）	①													
				必修	課題別総合実習	①													
4	講師	阿 児 馨	R6.3	必修	看護学研究	①	願いにより辞任（７）												
				必修	地域ふれあい実習	①													
				必修	健康ふれあい実習	①													
				必修	老年看護実践論	①													
				必修	老年看護学実習	①													
				選択	看護教育	①													
				必修	課題別総合実習	①													
5	講師	紀ノ岡 浩美	R6.3	必修	看護学研究	①	願いにより辞任（７）												
				必修	課題別総合実習	①													
				—	—	—													
6	助教	坂 井 利衣	R6.3	必修	課題別総合実習	①	願いにより辞任（７）												
				—	—	—													
				—	—	—													
7	助教	松 岡 真菜	R6.3	必修	まなぶる*ときわびとⅠ	①	願いにより辞任（７）												
				必修	成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	①													
				必修	成人看護学実習Ⅱ（急性期）	①													
				必修	課題別総合演習	①													
8	助教	大 槻 古野美	R6.3	必修	まなぶる*ときわびとⅠ	①	願いにより辞任（７）												
				必修	地域ふれあい実習	①													
				必修	健康ふれあい実習	①													
				必修	在宅看護実践論	①													
				必修	在宅看護学実習	①													
				必修	課題別総合実習	①													
合 計（D）				後任補充状況の集計（E）															
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）				②の合計数（b）				③の合計数（c）			
8		人		必修	28	科目	必修	28	科目	必修	0	科目	必修	0	科目				
				選択	10	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	選択	0	科目				
				自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目				
				計	38	科目	計	38	科目	計	0	科目	計	0	科目				

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。

就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、

「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、

「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」

・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) 一② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

[illegible]

(注) 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての幹幹（専任）教員について、記入してください。（学年進行中に幹幹教員の要件を満たさなかったことにより、幹幹教員でなくなった教員についても記入してください。）

昨年度の報告後から今年度の報告時までになつた（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ） 書きで報告年度を記入してください。

また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充予定」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
8	人	必修	28 科目	必修	28 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	10 科目	選択	10 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	38 科目	計	38 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3) \text{ 合計(D)}+(F)}{(2)-(2) \text{ 設置時の計画(A)}} = \frac{8}{31} = 25.8\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

人

(注)・(3)－①、(3)－②で赤字で記載した基幹(専任)教員数の合計数を記載してください。

・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合 計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
〇〇	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
認 可 時 (令和7年度)	該当なし		プルダウンから選 択してください。		プルダウンから選 択してください。
			「履行済」と判断した詳 細な説明を記入してくだ さい。(裏付ける資料が あれば、添付してくださ い。)		

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
- 【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**
- 令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。
- 【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**
- 令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。
- 【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該 当	な し

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

SD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<令和6年度の実績>

第1回SD委員会（令和6年5月16日出席率100%）

c 委員会の審議事項等

<令和6年度の実績>

第1回SD委員会議題 ①SD委員会の組織 ②2024年度活動計画 ③研修計画について ④学科内FDについて

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 全教職員のための研修会
- ・ 新任教職員のための研修会
- ・ 自己点検・評価委員会との連携による授業評価等のPDCA

b 実施方法

- ・ 年に数回、SD研修会を開催（令和6年度3回）
- ・ 学内及び学外有識者を迎えての研修会等を開催
- ・ 学外において開催される研究会等へのSD委員の参加
（関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアムひょうご神戸におけるFD研修等）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

＜令和6年度の実績＞

【第1回SD研修会】（新任教職員研修）

趣 旨：本学の見学の精神や沿革、教育理念を理解し、本学教職員として望ましい姿勢を培う。業務遂行に必要な関連部署の概念を理し、今後の教育・研究活動等に活用できるようにする。

出席率：100%

講演者：濱田道夫（学長）、中村忠司（理事長）、山下敦子（SD委員長）

【第2回SD研修会】（ハラスメントの概念と事例について）

趣 旨：ハラスメント問題に対する認識を深め、互いの人格と人権を尊重し、個々がハラスメントのない教育環境や就労環境の構築に努める。

出席率：100%

講演者：明石警察署長 警視正 植村琢也

【第3回SD研修会】（生涯にわたる心身の健康はこども期につくられる）

趣 旨：次世代人類に必要な育ちの環境を考える

出席率：100%

講演者：京都大学大学院教授 明和政子

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

毎回の研修会実施後、参加者を対象としたアンケート調査を実施。収集・分析したアンケート結果は学内Webサイトにて公開し、全教職員に対して周知することは勿論のこと、今後の授業改善等へと繋げている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年実施。原則として全科目を対象とし、授業の最終回時に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生に対しては、前期分と後期分を分け、集計したものを「学生へのメッセージ」のデータとして一つに取りまとめ、Webサイトにて公開するとともに、事務局・図書館等に据え置くなど、学生がいつでも閲覧できるようにしている。また、教員に対しては、教育の質保証に繋げるべく集計結果を教員各人にフィードバックするとともに、年次報告書として取りまとめ、全教職員に配布するなど、情報公開に努めている。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

「該当なし」

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

超高齢少子化社会が進行する世界一の長寿国である我が国において、健康価値観の多様化が進む中、健康増進法に基づく『21世紀における国民健康づくり運動』【資料1】において、疾病構造は急性期疾患から生活習慣病を中心とした慢性期疾患へと変化しており、日常生活の質の維持が重要な課題となってきた。また、少子化が進む中、社会を持続可能なものにするために、1億総活躍時代に相応しい、国民の健康寿命の延伸を実現する社会が求められている。この社会構造の変化に合わせた2040年問題の解決に向けた国家戦略の中で、社会保障制度は、疾病に対する一次予防と二次予防に重点が置かれるようになった。

このように社会が変化する中で、看護への期待も高まっている。医療の場は病院から地域・在宅へと拡がり、訪問看護の需要が高まっている。また多様な課題に対応するために多職種連携が必須となり、看護職は職種間の調整役としての役割を担う。そして看護職自身も健康で生き生き活躍するために、自分に合ったキャリア形成と働き方を見つけていく必要がある。そのために看護の質を変えることなく、新たな看護の在り方を模索する必要が出てきた。

保健科学部看護学科は医療検査学科、診療放射線学科、口腔保健学科の医療系の学科が一緒になった学部である。しかし、看護の特性から、診断、治療に関わる医療系の分野と分けることで、より専門性が明確になる。また、看護の対象や活動の場の拡大から、教育・福祉分野との連携も必要である。看護学部として単独になることから、保健科学部と教育学部両学部との連携の可能性が広がる。また、看護の対象や活動の場の拡大から、教育・福祉分野との連携も必要である。教育学部にはこども教育学科があり、幼児教育と小・中学校の教員を目指す。看護学部として改組することで、保健科学部と教育学部両学部との連携による可能性が拡がるのが期待できる。今後は“看護師になる”だけでなく、“どんな看護師になりたいのか”、“看護を生かして何ができるのか”を社会のニーズに応じて創造できる人材の育成が必要であると考えます。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和7年6月末 公表

b 公表方法

・ 自己点検・評価報告書を、本学Webサイトにて公開。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・ 令和10年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。